

# 令和4年 学校関係者評価報告書

学校法人タイケン学園 日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校 関係者評価委員会は「令和3年度自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を実施したので、下記のとおり報告します。(評価対象期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1	開催日時	令和4年4月26日火曜日	18:30～19:30
2	学校関係評価委員 (五十音順)	池崎 雄太郎	平成31年卒業生
		内山 洋二郎	内山電気管理事務所 代表
3	事務局内部委員	本田 和人	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校 校長
		岡本 京子	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校 事務長
		長藪 明子	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校 教務
4	学校関係者評価委員会議事の概要	事務局より配付済み資料「自己評価報告書」をもとに、出席委員に説明した。 その他配布資料・・・「学則」	

評価項目	評価・意見	今後の改善方法
1. 教育理念・目標	理念は変えなくてもよいが、その都度教育内容の見直しは必要。	世の中の変化には柔軟な対応を。
2. 学校運営	学園の事業計画に基づき適切に学校運営されているので問題はない。	固定概念や旧来の慣習にとらわれない学校運営をやっていく。
3. 教育活動	<p>コロナ以降、オンライン授業の導入など、教育現場は大きく変化した。</p> <p>これまでのやり方は通用しなくなっているため、何が必要とされているのかを見極める必要がある。</p>	固定概念にとらわれすぎず、新しいアイデアをどんどん試していかななくてはいけない。
4. 学修成果	就職支援や退学率低減について、改善が必要。	カウンセリング強化や、社会に出てすぐ役に立つようなカリキュラムの構築を。
5. 学生支援	スポーツを続けたい高校生・社会人にとって、貴重な受け皿となる学校だった。特待制度があるのも有難かった。	募集再開後は、部活動再開も視野に入れて、営業活動の強化を。
6. 教育環境	校舎の老朽化などが目立ち、今後、手を加えていかなくてはならない部分は多いように見える。しかし校舎が広いので密にならずに授業ができています。	<p>施設整備の徹底。</p> <p>引き続き環境改善の必要はある。</p>
7. 学生の受け入れ募集	<p>募集停止は残念だが、コロナ禍による社会情勢の変化を考えると、やむを得ない面もある。</p> <p>新しい学校へと生まれ変わらせるにはよい機会である。</p>	募集再開後の方向性を早期に決めること。

8. 財務	運営に問題ない	問題なし
9. 法令等の遵守	個人情報の保護に関する規定を整備したり、教職員の啓発のための研修も計画的に実施している。	問題なし
10. 社会貢献・地域貢献	地域の施設訪問やイベント参加など積極的に行っている。	今後は参加するだけでなく地域の要望などを取り入れて交流する機会を増やしてほしい。
11. 国際交流	コロナ禍で足止めされていた留学生たちが来日しつつある。学校再建に向け、大きな鍵となる存在でもあるので、あたたかく適切に迎え入れて欲しい。	受け入れ体制を再度整備すること。